



様式第2号（第9条関係）

令和4年3月30日

尾花沢市議会議長 殿

会派名 市政クラブ

代表者（無会派議員）名 奥山格



調査研究報告書

次のとおり政務活動事業を実施しましたので報告します。

事業名	令和3年度政務活動事業
期日	令和4年3月23日（水）～ 年 月 日（ ）
主な利用交通機関	ジャンボタクシー
実施場所	宮城県加美町役場
調査研究内容	<p>① 地域新電力『榊かみでん里山公社』 町内の再エネ電力を買い、公共施設や地元企業に電力を提供し、事業収益はまちづくりに活用。</p> <p>② 町民提案型まちづくり事業 市民活動団体等が企画・提案し、実施する事業について審査を行い、事業費の一部を町が助成する支援制度。</p>
参加者	奥山格、青野隆一、鈴木由美子

※添付書類：所感等を任意様式にまとめ添付する

令和4年3月30日

令和3年度市政クラブ政務活動報告書

報告者 市政クラブ代表 奥山 格

1. 日時 令和4年3月23日(水)
午前9時30分～午前11時まで
2. 視察先 宮城県加美町役場
3. 参加者 市政クラブ
奥山 格 青野隆一 鈴木由美子
会派に所属しない議員
鈴木裕雅 鈴木 清 菅野喜昭

4. 視察内容

- (1) 地域新電力事業「株式会社かみでん里山公社」について
- (2) 加美町町民提案型まちづくり事業について

5. 視察の結果と感想

宮城県加美町は、平成15年4月1日に中新田町、小野田町、宮崎町が合併した町である。面積は461平方キロメートル、人口は22,035人(令和4年2月末現在)、世帯数は、8,152世帯(同)である。高齢化率は、37.3%(令和3年3月末現在)である。予算規模は、128億円である(令和3年度一般会計当初予算)。

加美町のシンボルは薬菜山であり、400種類もの植物からなる花畑が楽しめるやくらいガーデンがあり、やくらいファミリースキー場、温泉と温水プール、レストランや産直施設があり、またパークゴルフ場があり、やくらいリゾートといわれている。また、町内には、パイプオルガンがあり、国内有数の音響を誇る中新田バッハホールがある。

(1) 地域新電力事業「株式会社かみでん里山公社」

さて、加美町では、イカノエ戦略があり、移住定住の促進、観光の振興、農家所得の向上とエネルギー自給率の向上のまちづくり推進を図ろうとしている。電力自由化によりどの会社でも登録すれば電気を売ることができるようになった。加美町では、民間企業のパシフィックパワー(株)と共同出資して、株式会社かみでん里山公社を立ち上げた。その設立目的はエネルギーの地産地消であり、電気料金の削減であり、会社の利益をまちづくりに活用することである。平成28年から地域新電力事業の検討を始め、公共施設の電力使用量調査や、町内太陽光発電事業者から電力調達、民間事業者への電力供給のアンケートを実施し、平成30年4月に株式会社を設立し、8月には一部の公共施設に電力の供給を開始した。その結果、町内の電気料金を削減し、また公社の収益を町に寄付し、寝たきり老人のおむつ代支給事業、公園の遊具の設置に活用したりしている。

(2) 加美町町民提案型まちづくり事業

また加美町では、協同のまちづくりを推進していて、平成24年から町民にまちづくりについて提案をしてもらう事業をしている。対象となる事業は、①公益活動支援事業、これは福祉の向上や町民利益の増進につながり、公共サービスが充実するような公益性の高い事業と、②まちづくりのにぎわい創出事業、これは斬新なアイデアと創意工夫により、幅広い町民が参加でき、町全体が活気づくような新規の事業である。①については平成31年から、テーマ設定部門と自由部門を設けるようになった。また青少年を対象とする青少年提案事業を設けている。そしてこれらの提案に対して審査を行い、事業費の一部を町が助成している。

さらに、町では、事業の実効性、継続性を高めるための研修を行っていた。一つは、当事業活用団体向けに、もう一つは、幅広い市民活

動団体向けにである。町民のこの事業に対する意識を高めるために大変良い企画であると思った。

以上加美町の二つの事業を視察して、株式会社を立ち上げて新しい地域新電力事業に積極的に取り組んでいること、また町が町民のまちづくりへの企画・提案を取り上げてその事業を支援し、町民と一緒にまちづくりをしていこうとするところに、加美町のまちづくりのやる気を感じたしだいである。以上